

「令和6年能登半島地震」への対応について

日本赤十字社福井県支部
(令和6年1月30日9:00調製)

1 地震の概要

- 発生時刻 令和6年1月1日16時10分頃
- 震源地 石川県能登地方(震源の深さ:16km)
- 地震の規模 マグニチュード7.6
- 震度状況
 - 石川県:震度7(志賀町、輪島市)、震度6強(七尾市、珠洲市、穴水町)
 - ※ 福井県:震度5強(あわら市)、震度5弱(福井市、坂井市)
 - 石川県能登に大津波警報、福井県沿岸等に津波警報発表
- 被害状況(1月29日14:00現在:石川県)
 - 死者 238人(うち15人関連死) 安否不明者19人
 - 負傷者 1,100人以上、住宅被害44,000棟以上
 - インフラ・ライフライン(土砂崩れ、道路寸断、断水、停電など)
 - ※ 福井県:軽傷者6人、住宅半壊・一部損壊135棟、道路液状化、断水ほか
- 避難状況(石川県災害対策本部まとめ)

市町村避難所	<u>294</u> か所	<u>8,945</u> 人
県避難所(1.5次)	3か所	<u>297</u> 人
〃(2次:旅館・ホテル等)		
	<u>172</u> か所	<u>3,992</u> 人

2 日赤福井県支部の対応状況

- 支援チーム等の派遣
 - (1) コーディネートチーム
 - 第1班(3名:1月2日~4日の3日間)
 - 第2班(3名:1月23日~26日の4日間)

救護班の派遣調整、情報収集

- (2) 救護班
 - 第1班(7名:1月2日~4日の3日間)
 - 高齢者施設でのアセスメントを実施
 - 第2班(8名:1月8日~11日の4日間)
 - 第3班(9名:1月17日~20日の4日間)
 - 第4班(7名:1月25日~28日の4日間)

避難所等での巡回診療、感染管理指導、薬剤処方、コロナ患者等への対応等

- (3) DMAT
 - 第1班(6名:1月6日)
 - 患者搬送・受入



柳田温泉病院（能登町）⇒福井空港SCU⇒福井赤十字病院（2名受入）
第2班（5名：1月8日～13日の6日間）

患者搬送・受入、医療支援（珠洲市⇒小松市民病院）

患者搬送に必要な新たなSCUの設営・指揮（石川総合スポーツC）

- ・ 救援物資の搬送

（1月3日：救護奉仕団延べ6名の協力）

毛布、安眠セットをそれぞれ穴水町、珠洲市に搬送

穴水町（毛布500枚、安眠セット50セット）

珠洲市（毛布500枚、安眠セット51セット）

（1月5日）

毛布500枚を富山県支部に搬送

（1月6日）

ラップポン（簡易トイレ）10台を石川県支部に搬送

- ・ 「令和6年能登半島地震災害義援金」の受付開始

受付期間：令和6年1月4日～12月27日

- ・ 日赤石川県支部災対本部へ支援要員

派遣（1名：令和6年1月14日～18日の5日間）



3 福井赤十字病院における患者受入

- ・ 1月6日 2名受入（再掲）

柳田温泉病院（能登町）⇒福井空港SCU（DMAT対応）⇒福井赤十字病院

- ・ 1月9日 5名受入

市立輪島病院⇒自衛隊によって福井空港にヘリ搬送⇒福井赤十字病院

※下線部は追加・更新箇所

【支援チーム等の活動状況】

〔活動拠点等でのミーティング〕



〔特別養護老人ホームでの問診〕



〔健康増進Cで診察する医師〕



〔避難所での実態調査〕

